

なるこたにがわいちごうえんてい

鳴子谷川1号堰堤



Ver.1 (2022年9月) 紀伊半島大水害からの復興シリーズ 9-1

CIGrCo

SABO-DATA

所在地:和歌山県東牟婁郡那智勝浦町

河川名:那智川右支川鳴子谷川

形式:不透過型砂防堰堤(重力式)

規模:堤高14.5m/堤長125.0m

施行者:国土交通省

着工/完成:平成29年(2017)9月

令和元年(2019)9月



平成23年9月災害時の状況

基本情報

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町の那智川流域は、平成23年9月の台風第12号(紀伊半島大水害)により、那智川に流れ込む各支川で多くの斜面崩壊が発生し、流れ出した土石流により多くの人的被害、物的被害が発生しました。令和4年9月現在、緊急対策工事により、8つある支川において計15基の砂防堰堤が完成しています。また、那智川流域が世界遺産等に登録されているため、周辺環境に調和するよう配慮した整備を行っています。

こだわりの技術

鳴子谷川の谷出口には、住宅、公的及び民間の観光施設(大門坂駐車場、ねぼけ堂)が位置し、直下の県道は、上流那智山地区へ通じる生活・観光面での重要道路で、避難道路になっており、不透過型の砂防堰堤が整備されました。施設の整備にあたっては、周辺景観と調和させるため、地元の石を用いた石積みを施工しました。また、上流には既設の鳴子谷堰堤(県)が存在していましたが、既設堰堤上流側には土石・流木が不安定な状態で堆積しており、鳴子谷2号堰堤として本堤を切り下げた透過型堰堤へ補強改修しました。